



FUKUROI PERSONAL FILE

酒造りで培った発酵技術を活かし、

微生物制御発酵茶でお茶の未来を広げる

株式会社リバーソン代表取締役

河村傳兵衛さん(松原)



「なんでも美味しさを感じないと売れません。静岡県がお酒で吟醸王国といわれるのは、お酒が本場に美味しいから。お茶も美味しいことが第一。」

自身が製法を開発したお茶を手に話し始める河村傳兵衛さん(68歳)。「微生物制御発酵茶」は、河村さんがこれまで培ってきた酒造りの発酵技術を活かして開発した、新しい製法によるお茶で、緑茶を安全な微生物で発酵させたものです。香りも良く、ほのかに甘い味わい。「美味しい・安心・健康的。そんなお茶であることが大切です。」

子どもころから実験が好きだったという河村さん。食品工業に興味を持ち、大学では、農学部農芸化学科で農産製造学や発酵学を学び、卒業後、県の工業試験場醸造課(現在の県工業技術研究所)に就職し、研究員として「静岡酵母」を開発します。

静岡酵母は、現在の主な県内産吟醸酒に使われている酵母です。河村さんの酒造りの技術は静岡酒の評価を高めていき、地酒では当時無名で生産量も少なかった静岡県を吟醸王国と呼ばれるまでに躍進させました。

そんな河村さんも、平成16年に県を定年で退職。研究と離れた日々を過ごしますが、その年に再会した社長をしている同級生の生き生きとした姿に刺激を受け、「自分も会社をやるか」と起業を決心。翌日から直ちに行動を開始し、約一ヶ月後に株式会社リバーソンを設立します。本人が取締役兼研究員の会社です。

酒造りの技術をもとに、かつおぶしや柿酢などの商品開発を手掛ける中、ある時、お茶で何かできないか相談した知人に「カフェインの少ないお茶を作ってみては？」とヒント

をもらいます。その研究に取り組む中で、茶葉に微生物がうまく使えることがわかり、それがきっかけとなって微生物制御発酵茶の開発へと結びつきました。

「緑茶の一番茶は一番茶よりカテキンが多く、発酵茶に適しています。価格の安い二番茶対策にもなると思います。何より美味しい。お茶の可能性はこれからガラッと変わるでしょう。」

私の活動はベンチャーですが、産業は意気込みのある人間が増えれば必ず良くなります。自分で考え行動する、委託ではなく自ら企業を起こす、それが大切だと思います。」

お茶の未来に向かって河村さんはさらなる研究開発を進行中です。

仕事を離れば「こたわりのない生活」を送っているという河村さん。

「お酒は日本酒よりもビールやワインをよく飲みます。息子がビール製造会社へ勤務してしまっただと、父親の顔もぞかせてくれました。」

変わることはない研究への情熱を原動力に、今日も新たな研究・開発に挑み続けています。



自宅を兼ねた研究所で開発に取り組む河村さん

グループ紹介 袋井で活動中

ママ・フラメンコ「カラパーサ」

●体を動かしてママもリフレッシュ! 子どもと一緒に参加もOKです!

毎月3回、木曜日の午前10時10分~55分に、メロープラザ1階の第1・2会議室で活動しています。家事や育児に忙しい毎日、ママたちも体を動かしてリフレッシュしたい、子どもと一緒に参加したいとの思いから、昨年12月に立ち上げたばかりのサークルです。

レッスンは、アップテンポなフラメンコの曲に合わせて身体を動かすだけ。運動不足の解消や平日の息抜きに、ママや子ども同士の交流に、あなたも参加してみませんか。未経験者も大歓迎です。

1月の活動日は6日と27日です。まずは気軽に見学または、お問い合わせください。



練習の様子



カラパーサの皆さん

代表 内藤有希子さん(旭町) 会員募集中です。
☎090-7618-2162 ✉kcsnd351@yahoo.co.jp

待ってます!

街の写真館



地域やサークルの行事、お気に入りの写真や子どもの写真などを郵送してください。写真には、タイトル、住所、氏名(ふりがな)、年齢(生年月日)、電話番号、自治会名を書き添えてください。

送り先 〒437-8666
袋井市役所 秘書広報課 広報広聴係

Eメールでのデジカメ写真の応募もお待ちしております!
※携帯電話のカメラ機能で撮影した写真など、写真の画素数が低い場合は掲載できないこともあります。
☎☒ hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp



茶の湯体験講座

「11月7日、北町公会堂で、茶の湯体験講座を行いました。お茶の歴史や礼儀・作法を学び、特製の器に用意されたお茶をおいしく頂きました。」 ワイガヤサロン代表 牧田武之さん



「ひいおばあちゃんと一緒に小国神社へもみじ狩りに出かけました。」
鈴木里琉くん(1歳)、年江さん(84歳)

おばあちゃんともみじ狩り



革工芸を楽しんでいます!

「袋井東公民館活動の一環として、毎月第1・3土曜日の午前9時から、地区の女性8人で活動しています。最近は少年学級の子もたちと一緒に、革のペン立てづくりも行いました。」 グランマクラブ(袋井東公民館 ☎43-3389)



エコパの自然とふれあう体験学習

「エコパのピオトープで、市内の小学生たちが自然環境学習を行いました。」 エコパハウス ☎41-1800 <http://www.ecopa.jp>



「12月1日、浅羽東公民館で、地域のボランティアの方から、座り方や手の置き方など、茶道の作法を教わりました。」

浅羽南小放課後子ども教室